

これまでの枠を超えた支援を!

西日本豪雨災害

参院災害対策特別委員会

現場の声を突き付け要求

日本共産党の仁比聡平参院議員は8月2日の参院災害対策特別委員会の閉会中審査で、西日本豪雨被害の被災地を視察して聞き取った現場の声を突き付け、「被災者の要求を最優先に、これまでの枠を超えた支援策を速やかに現場に届け、被災者が一日一日前を向いていけるよう全力をあげるべきだ」と主張しました。



仁比
そうへい

参議院議員・弁護士

日本共産党

参院災害対策特別委員会で質問する仁比そうへい参議院議員(2日)

被災者の生活と生業の再建へ 愛媛県の共産党が政府交渉



西日本豪雨で土砂災害やダム放流に伴う河川の氾濫などの大きな被害を受けた愛媛県の共産党県委員会が7月26日、国会内で、土砂・廃棄物の撤去や被災者支援、重大な被害を受けたミカン農家の支援などを各省庁に要請。仁比議員が同席しました。

被災地に義援金を届ける



日本共産党はこれまでに、同党に寄せられた義援金のうち、第一次分として1,950万円を被災自治体へ届けました。仁比議員は7月24日に総社市と倉敷市(写真)に小池晃書記局長らとともに義援金を届け、31日には松井一実広島市長に義援金を手渡しました。

**土砂やがれき
全額公費で撤去を**
仁比議員は、土砂崩れなどで民地に流入した土砂やがれきについて、現場の裁量で全額公費での撤去を求めました。

国土交通省の秋元司副大臣は「環境省の災害等廃棄物処理事業と国交省の堆積土砂排除事業、公共施設の災害復旧事業は、契約業者を分けず一体で土砂等を撤去し、事後的に費用を各事業で案分できることを周知した」と述べ、各省庁間で連絡を取り合って決めた初めての取り組みを実施すると説明しました。

また仁比議員は、コミュニティを大切にしたい木造仮設住宅の活用や、商工業者への直接支援の実現を要望。経済産業省の平木大作政務官は、「グループ補助金や持続化補助金への要望も踏まえ、速やかに必要な支援措置を実現できるよう取り組む」と答えました。

**被害は想定と一致
徹底した検証必要**
仁比氏は、今回の被害はハザードマップなどで想定していたのとはほぼ一致した浸水や土砂流入だったのに、被害が拡大し、人命が守られなかったのは「痛恨の思いだ」と指摘。

「防災・減災の取り組みが届かなかったことを猛省し、徹底した検証を」とただしました。

**核なき世界実現へ
決意を新たに**
広島・長崎を訪問
仁比議員は、5日と6日に広島市、9日に長崎市を訪れ、核兵器のない世界実現へ決意を新たにしました。5日、広島県被爆者団体協議会の佐久間邦彦理事長らと懇談し、政府に核兵器禁止条約への署名・批准や被爆者支援の拡充を求めていくこととで一致。6日朝、原爆記念碑に献花しました。(写真)



(写真)

日本共産党・参議院議員

仁比そうへい国会報告

2018年8月号

発行：仁比聡平国会事務所

東京都千代田区永田町2-1-1

参院議員会館815号室

TEL 03-6550-0815 FAX 03-6551-0815

日本共産党の見解を紹介します。



仁比聡平

【略歴】●1963年北九州市で新日鉄労働者の家に生まれる。小倉高校、京都大学法学部卒●弁護士(北九州第一法律事務所)、1999年から国政候補として活動、2004年参院選の比例区で初当選。13年参院選で議席奪還●議運理事、憲法、情報監視、予算、決算、国土交通、法務、災害委員などを歴任。現在は党中央委員、党参院国対副委員長●家族：妻/1女1男。